

大阪万博会場に
ケイクリート製品
鴻 池 組

鴻池組（本社、大阪市中央区、社長＝渡津弘二氏）は、CO₂吸収コンクリート「ケイクリートN」を、通常のコンクリート製造時に110%の削減を実現。大阪・関西万博の施設整備事業に試行適用した。

同社は建設業における力

kgとすることができる。

一ボンニユートラルの実現

万博会場には、ケイコン（本社、京都市伏見区庭本

ルシウム源と排ガス由来の
をを目指す。同様に反物質のア

（云者市役員）と其

CO₂を原料とするCCU
材料「Kcatal」を開発。

同開発した「ケイクリート」

「ホルムアルデヒド」を開発

「N」型のIC型「日本銀行通

とし、軽質炭酸カルシウム

使用したのは境界プロツ

として粒子供給された木粉で、Kcalを混合した「ケ

使用したコンクリート量は

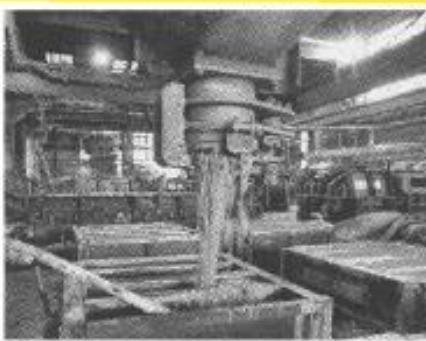
「イクリートN」は、CO₂を

4m² 約1トンのKcal

間接的に固定する
敷道限

を混合しており、排ガス由
來のCO₂約440kgを吸

着・固定した。



ケイクリートN打設状況
(ケイコン京都工場)

「N」を用いたPCa製品の試験結果を示す。図より、Nを用いたPCa製品は、他のPCa製品と比較して、より高い強度を示すことがわかった。